

## 『ヤマダホールディングスグループ 統合報告書 2025』 公開のお知らせ

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、本日、「ヤマダホールディングスグループ 統合報告書 2025」を当社公式ウェブサイトにて公開しましたので、お知らせいたします。



**CEO MESSAGE**

代表取締役会長 兼 CEO  
**山田 昇**

**経営環境の劇的な変化と「くらしまるごと」戦略の必要性**

企業は時代の流れの中でしか生きることができません。ヤマダホールディングスグループは創業から50有余年、いつも新しい時代を切り開くために自らの“かたち”を変えてきました。

日本の家電流通業界と家電業界は、いままでに歴史的な転換期を迎えています。業界のハイオク化として市場をけん引してきた当社は、経営環境の大きな変化をいち早く捉え、家電量販店の枠にとどまらないビジネスモデルの再構築に早急に取り組んでまいりました。それを明確な戦略としてまとめたのが、「くらしまるごと」戦略です。ヤマダホールディングスの強みを最大限に活かし、今年から5年をかけて進める新中期経営計画の目標達成を可能とする唯一の道筋であると確信しています。

創業以来、常にファーストムーバー（先駆者）として時代を切り開いてきたヤマダが、従来型の家電量販店業態と決

別し、次なるステージへ進もうとしています。「くらしまるごと」戦略は、その決意表明とも言えます。

ヤマダがこのような変革に挑む背景として、国内市場の構造変化があります。少子高齢化・人口減少は加速し、家電は耐久消費財としての特性から買い替え需要が減少しており、国内市場の縮小は避けられない状況です。実際、この業界の統計を見ても、市場規模は2010年の9兆5,000億円から、2024年には6兆9,000億円と、じつに27%ものシュリンクが起きている。魅力ある出店エリアはほぼ一消した状況で、従来通りの出店を継続すると自社競争が発生し、グループ全体の店舗の生産性は低下することが予想されます。おのずと出店戦略も見直しが必要で

加えて近年、家電メーカーの業界構造が急激に変化していることも見過せません。長年、世界の家電市場は日本の電機メーカーが席巻してきました。結果的に、国内の家電量販店はいづれも同じ日本メーカーの商品を取り扱うことになり、価格以外で差別化するのが難しい状況にありま

した。しかも日本の独特の商慣行により、ヤマダデンキのように店舗数も仕入れ量も多い大規模小売店であっても、その分だけ仕入れ価格が安くなるボリュームディスカウントは一般的ではなく、スケールメリットを価格競争に活かすににくい構造となっていました。しかし、最近では日本メーカーに代わって、中国をはじめとする海外新興メーカーが台頭し、勢力範囲が広がってまいりました。これをむしろ好機として捉え、私たちが築いてきた家電流通のビジネスモデルを適切に見直し、いくことが肝要です。

こうした経営環境の変化を乗り越え、新たな成長軌道に向かうために打ち出したのが「くらしまるごと」戦略です。ヤマダの主力事業である家電販売を中心に、家具・インテリア

**家電量販店からライフスタイル提案企業へ——。個人需要から世帯需要へ広げながら「ヤマダ経済圏」を形成し、ファーストムーバー（先駆者）として新たな成長戦略へ挑みます。**

### 【ヤマダホールディングスグループ 統合報告書 2025 概要】

|           |                                                                         |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------|
| イントロダクション | 3つのポイント、成長の軌跡、経営資本                                                      |
| トップメッセージ  | CEO、COO、CHRO メッセージ                                                      |
| 価値創造ストーリー | 価値創造プロセス、ビジネスモデル、ヤマダが目指す「くらしまるごと」、数字で読み解くヤマダ経済圏、特集「くらしまるごと」戦略—稼働力のメカニズム |
| 事業戦略      | 中期経営計画、事業セグメントの概況と戦略、PB+SPA 戦略 など                                       |
| ESG       | ガバナンス、環境、社会                                                             |
| データ       | ESG データ、財務データ など                                                        |

### ヤマダホールディングスグループ 統合報告書 2025

URL: [https://www.yamada-holdings.jp/csr/report\\_archive.html](https://www.yamada-holdings.jp/csr/report_archive.html)

※英語版は 2025 年 11 月下旬に公開予定

## ■株主・投資家の皆様に伝えたい3つのポイント

統合報告書 2025 では、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様から寄せられる問いをもとに、3つのポイントを中心にお伝えします。

1. 家電量販最大手のヤマダは、これからも先駆者であり続けるのか
2. 「くらしまるごと」戦略をどう実現するのか
3. 「稼ぐ力」を具体的にどう高めるのか

ヤマダホールディングスが創業以来、大切にしてきた企業 DNA や独自のビジネスモデル、競争優位性を成長の原動力として位置付け、中長期の持続的成長をどう果たしていくのか、稼ぐ力をどう高めていくのかについて、本統合報告書を通じて、ステークホルダーの皆様にご理解いただけることを願っています。



以上

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】

株式会社ヤマダホールディングス 統合経営企画室 経営企画部 広報課  
TEL : 027-345-8947 E-mail : ymd\_kouhou@yamada-denki.jp